

原料費調整制度に基づく平成30年1月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成29年8月から平成29年10月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○平成30年1月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			平成29年12月検針分	平成30年1月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	188.18 円	187.60 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	178.88 円	178.30 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	169.74 円	169.16 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成29年8月から29年10月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	46,650 円/トン(10円未満四捨五入)
平成29年8月から29年10月プロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	52,460 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 46,650 円/トン×0.9771 + 52,460 円/トン×0.0474	48,070 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	48,070 円 - 38,910 円 = <u>9,100 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年1月分検針の調整額(1m ³ あたり)	9,100 円 × 0.077 円 ÷ 100 × 1.08 = <u>7.56 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成29年12月分検針の調整額(1m ³ あたり)	8.14 円(税込)
(1月分)対(12月分)増減(1m ³ あたり)	<u>-0.58 円</u> (税込)

平成30年1月分の単位料金を1m³あたり +7.56円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成29年12月分料金	平成30年1月分料金	影響額
20m ³	4,452円	4,440円	-12円